



新型コロナウイルス感染症

感染拡大防止のための活動報告No.22

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に必要な対策が日々講じられていますが、いつどこで感染拡大するかは、わかりません。婦人会では、その状況でも、どのように事業を継続できるかを最新の情報にアンテナを張りながら活動しています。そこで、新しい生活様式のために取り組む婦人会活動を紹介いたします。

<大分県結核予防婦人会>

大分県結核予防婦人会の母体である大分県地域婦人団体連合会が毎年行っている研修会が、本年度は以下のことに配慮して開催されました。

- ・参加者数を例年の半分の150名にした。
- ・開会時間を3時間以上短縮し、昼食を挟まず、午前中で終わらせた。
- ・例年は受付、開会行事の後に各会場に向かうが、今年は直接各自の分科会会場に入ってもらった(接触を減らすことと時間の短縮を図る)。
- ・開会行事及び基調講演は、それぞれの分科会場に同時中継した。
- ・座席には番号を振り、すべて指定席とした(万が一、発症者が出た際に濃厚接触者を特定できるようにするため)。
- ・1グループ4名は向かい合わないよう、座席ははず向かいに配置した。
- ・後日、YouTube で基調講演及び分科会の内容が見られるようにした(人数制限の関係で参加できなかった人等への配慮)。

大分県地域婦人団体連合会リーダー研修会の開催ポイント写真

	昨年度	今年度
開会 行事		

昨年度と比べて、3密の具合が違います。ゆったりもいい感じです。写真ではわかりにくいのですが、全員マスク着用しましたし、事前の検温も依頼されました。

	昨年度	今年度
分科 会場		
会場は同じですが、人数の差は歴然です。写真ではわかりませんが、空調もドアを開放するなど、気を付けられていました！		

なお、8月31日現在、感染者の報告はありません。偶然かもしれませんが、対策をとって参加できたことは、会員にとっても、事務局にとってもありがたいことでした。

ただ、コロナ禍で会員が激減し、活動再開の見通しが立たないという地区も存在しているので、今後はそのような婦人会をどのように支援していくか、課題も残されています。

〈杵築市地域婦人団体連合会〉

総会などを開こうとしても、公共施設の会議室をお借りすることができない状況が続いたため、市庁舎ロビーの一角をお借りして、新会長と旧会長とで総会を実施し、会計監査会を監査役2名のうち1名が参加し、開催しました。

また、地区総会が中止となりましたので、支部長宛に資料を郵送するという形をとりました。

他団体も同様な状況であったため、他団体との会議についても同様にJAの会議室前ロビーで会計監査会と同時に総会を行うというやり方で実施しました。

理事会では、総会の取り扱いを議論し、理事にのみ総会資料を会長が各戸訪問して届けました。

来年は、いつもの理事会、総会が開けられるといいなと祈るばかりです。